

対象プロジェクト名	遠隔教育プロジェクト
個別プロジェクト名	遠隔個別指導
資料名	遠隔教育プロジェクト遠隔個別指導報告書
年度	2009年度
年月日	

遠隔教育プロジェクト 遠隔個別指導報告書

【概要】

遠隔地からでもマンツーマンで指導できる体制を

修士論文作成には、担当教諭との綿密な打ち合わせが必要となるが、本専攻ではテレビ会議室システムを用いて、学生のサポートを行った。



使用機器

機器については、遠隔授業と同様のシステムを利用

本運用～さまざまな機能を活用して効果的な遠隔授業を展開～

各機能は以下の通り

WEB共有	FreshVoice を使用しながらインターネット接続が出来る
ドキュメント共有	デスクトップに必要な情報を表示、タブレットペンで線を引いたり文字を書いたりする機能もあり、遠隔地の PC 上でも強調線が表示され、教室と同じかたちで受講可能
デスクトップ共有	どちらかのデスクトップ画面を共有、リモート操作も可能
ファイル転送	瞬時に大容量ファイル送受信が可能
チャット機能	講義中に遠隔中継のトラブルが発生した場合でも、遠隔地院生とチャットでやり取りして解決可能(音声によるやり取りでは、教室で行われている講義の妨げとなるが、チャットならその心配がない。)

受講生の声

フェイストゥフェイス、タイムラグのない指導により、順調に論文に取り組むことができた。
通学しなくても、通学しているのと同様の効果が得られたと感じている。

【実績】

2008年度 春学期 長野県北佐久郡、岩手県紫波町

秋学期 熊本県熊本市

2009年度 春学期 東京都世田谷区

秋学期 群馬県富岡町、千葉県佐倉市

兵庫県加西市